

2019年8月1日

株式会社 山陰合同銀行

「日南町有林J - クレジット」及び「日南町森林組合J - クレジット」 3社合同売買契約調印式の開催について

山陰合同銀行（頭取 石丸 文男）では、地域の環境保全に対する取り組み、そしてSDGsにも定められる気候変動に対する具体的な対策の一環として、ふるさとの森林整備に由来するJ - クレジットを活用したカーボン・オフセットの取り組み支援を行っています。

このたび、当行の仲介により2019年8月2日（金）に、J-クレジットを保有する日南町（町長 中村 英明）および日南町森林組合（代表理事組合長 平田 広志）と、日南町内企業である小竹林業株式会社（代表取締役 小竹 辰次）、有限会社大生建設（代表取締役 川田 嗣男）、有限会社近藤板金工作所（代表取締役 近藤 英義）の3社との間で、それぞれJ-クレジット売買契約が締結されることとなり、下記の通り3社合同による調印式が行われることとなりましたのでお知らせします。なお、同日、このたび初めてJ - クレジットを購入する小竹林業株式会社に対して、鳥取県より「とっどりの森を守る優良企業認定」の認定証が贈呈されますので、あわせてお知らせします。

なお、本年7月1日に「SDGs未来都市」として日南町が選定されて以降、日南町内のJ - クレジット販売としては、4社・7件（合計：178t-CO2）となります。SDGs未来都市選定後、1ヶ月の間に同町内企業3社を含めた4社が日南町に由来するJ - クレジットを活用したカーボン・オフセットを実施されることは、今後、日南町の林業を核とした第一次産業の活性化による持続可能なまちづくりを目指す「SDGsにちなんチャレンジ2030」の諸施策推進へ向けて、大きな一歩となるものと考えております。

当行では、長年、ふるさとのJ - クレジットを活用した地産地消型のカーボン・オフセットの提案による取引先企業の付加価値向上を推進しています。昨今では、SDGsやESG経営に対する国際的な関心の高まりから、改めてJ-クレジットの意義や活用方法が見直されており、企業経営に取り入れるお取引先企業が増加しています。今後も、地球温暖化防止や森林整備の重要性をお取引先の皆様と共有し、持続可能な社会の実現の一助となることを目指し、J - クレジットの販売（仲介）および活用支援を積極的に行ってまいります。

【J - クレジット等売買仲介実績】

日南町内J-クレジット売買仲介実績			J-クレジット売買仲介実績 (含む他の自治体、民間事業者保有分)		
今回	6件	55t-CO2	合計	69件	3,084t-CO2
合計	36件	893 t-CO2			

(2019年8月2日現在)



記

【調印式概要】

日 時	2019年8月2日（金） 9時30分～10時00分		
場 所	日南町役場 防災会議室 （鳥取県日野郡日南町霞800番地）		
出席者 (敬称略)	【J-クレジット販売者】		
	日南町	町長	中村 英明
	日南町森林組合	代表理事組合長	平田 広志
	【J-クレジット購入者】		
	小竹林業株式会社	代表取締役	小竹 辰次
	有限会社大生建設	代表取締役	川田 嗣男
	有限会社近藤板金工作所	代表取締役	近藤 英義
	【優良企業認定者】		
	鳥取県	鳥取県西部総合事務所 日野地域振興センター所長	越智 浩明
	【J-クレジット仲介者】		
	当行	常務執行役員 米子営業本部長	安喰 哲哉
	内 容	日南町有林J-クレジット売買契約調印式 J-クレジットとつとりの森を守る優良企業認定式	

以上

- J-クレジットとは、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出削減量もしくは適正な森林整備等によって増加した温室効果ガスの吸収量をクレジットとして認証されたもの。
- カーボン・オフセットとは、自らが排出した温室効果ガスを、他者が実施した温室効果ガス削減・吸収事業で生み出されたクレジットを用いて自主的に削減する取り組み。